

<支部・準支部だより>

JDSの仲間たち

No.30 東京西多摩支部
(ぽっぽクラブ)

● あゆみ

平成6年11月に、保育所や保健所の紹介で知り合った親子が集まって、ポータージの話をしたり、お茶を飲んだりするルームを開きました。やがて、「ぽっぽクラブ」という名前が付いて日本ポータージ協会の支部となり、平成8年6月にはJDSの準支部にもなりました。

ポータージ相談を中心にして、勉強会の開催やカレンダー作り(写真交流)、通信の発行などの活動を進めました。勉強会では、ダウン症青年本人や学齢児のお母さんに生活を語ってもらったり、ポータージプログラムや言語聴覚士の先生の講義、オイリュトミー体験、「パタカラ」という口唇訓練器具の発明者から実地のアドバイスをいただいたこともありました。

仲間たちが一枚のカレンダーに登場する写真交流「ぽっぽクラブカレンダー」は、平成27年には16作目となりましたので、パネルに張り込んで、『定点観測—ぽっぽクラブの仲間たち』として東京都立青峰学園のんびりカフェ(青梅市)のギャラリーで展示しました。ただ、子どもたちが大きくなって写真が集まりにくくなりましたので、昨年よりは「ぽっぽクラブ交流掲示板」と題した自由記述式の交流誌を作成するようにしました。

● 活動

創立期からのポータージ相談ルームは各地で独立したので、現在は一般相談だけを受けています。支部活動は「ぽっぽクラブ交流掲示板」だけとなり、事実上の休止状態です。

● 支部長より



東京多摩地域といっても案外広く、メンバーの年齢層の幅が大きくなってくなかで、支部としての活動を立ち上げられず、今ではJDS会費を集めることだけが活動になってしまっています。せっかく小さいお子さんをお持ちの方に会員さんになっていただいても、近隣の活動を紹介させていただだけの状況に、心苦しい思いもいたします。でも、名簿配布も一律にはできない昨今ですが、昨年からはじめた自己開示方式の「ぽっぽクラブ交流掲示板」には少し期待しています。各地で素敵な活動を展開している会員さんがいるので、支部を交点に活動のネットワークが広がってほしいと願っています。

◆ 創立年度：1996(平成8)年6月

◆ 代表：荻原 稔

◆ 会員：26 家族

◆ ご本人の年齢：4歳から25歳

◆ 対象地域：東京都多摩地区

(転居等により北海道や群馬県の方もいます)

◆ 連絡先：poppo-c@minos.ocn.ne.jp



本人たちは続々成人です。